

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	24	学校名	西和清陵高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	書道体験教室
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	書道を通じて地域の小学生と繋がりを深め、また教える立場を体験することで自己有用感を高める。
連携・協働相手	三郷町教育委員会、三郷小学校、三郷北小学校
地域と共有している目標・課題等	地域の小学生と高校生の協働を行うことによって、小中高の連携をより一層強化する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
書道部5名（1年2名、2年3名）が主体となり、地元の小学生を対象にうちわ作り体験を計画した。初めて筆を持つ子には筆の持ち方から教えたり、お手本を書いてあげたり、どんな作品にしたいか相談をしながら一緒に一つの作品を作り上げた。	

2. 事業の成果と課題

買い出しや教室整備等、準備の段階から生徒が主体となって行い、積極的に運営に関わることができた。地域の小学生と関わることで、地域の小学校への興味・関心が高まっただけでなく、書道の楽しさ、教えることの楽しさを感じることができたようであった。また参加した小学生にとっても高校の雰囲気を知る機会になり、うちわ作り体験を通じて書道への関心が高まり、自分の作品が形に残る喜びを感じてもらうことができた。

今後の課題として、書道部以外の部活動や生徒活動を巻き込み、より多様な地域連携の形を目指すことである。また計画から準備にかけての期間が短かったため、より長い準備期間を設けてより深い学びの場、協働の場となるような工夫が必要である。

